

# 小論文問題冊子

## (社会人専修コース 演習 A)

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. これは、経営学専攻（博士課程前期）社会人専修コース 演習 A の問題冊子です。  
出願しているコース及び演習と同じであることを確認してください。
3. 試験時間は、90分です。
4. 試験問題についての質問は、受けつけません。
5. 試験開始後、ただちに解答用紙の中の受験番号記入欄に受験番号を正しく記入してください。（氏名は記入しないでください。）
6. 解答は、日本語で行ってください。
7. 問題冊子・解答用紙に汚損等がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

# 令和 8 年度

## 横浜国立大学大学院国際社会科学府(博士課程前期)入学試験問題

### 経営学専攻 社会人専修コース 【演習 A】

---

以下の3つの問いに答えなさい。

- (1) 一部の調査によれば、従業員満足度が高い企業ほど業績が良好であるという傾向が報告されています。この結果を受けて、ある経営者は「従業員満足度を高めれば業績も改善する」と考え、給与水準を大幅に引き上げる方針を打ち出しました。この経営判断は論理的に妥当と言えるでしょうか。その理由を説明し、あわせてこの判断に内在するリスクや注意点を論じなさい。
- (2) ある企業の運営するサブスクリプション型サービス（一定の期間ごとに定額料金でサービスを提供する仕組み）では、契約から3か月目以降に顧客の解約率が顕著に上昇しています。この現象の背後にあると考えられる要因について、仮説を複数挙げ、それぞれの仮説を検証するために、どのようなデータをどのように分析すべきか説明しなさい。
- (3) EC サイト（ネットショップなどの電子商取引サイト）において、一部の顧客に割引クーポンを配布したところ、クーポンを受け取った顧客の購買率が通常よりも高いという結果が得られました。これを受けてマーケティング担当者は「クーポンが購買を促進した」と報告しています。この結論は論理的に妥当でしょうか。その妥当性を検討したうえで、クーポン施策の効果を正しく評価するためには、どのような方法で比較・検証すべきか説明しなさい。